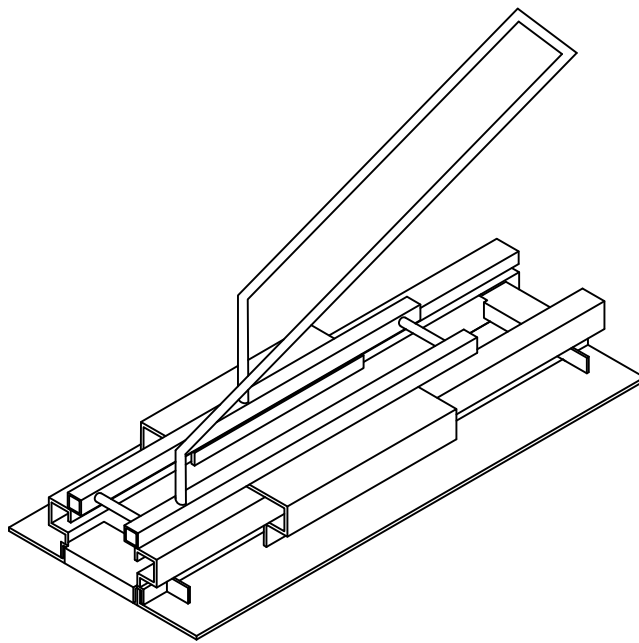


組立説明書

Moving RACK



※当「組立説明書」は、管理又は使用される方に必ずお渡し下さい。

このたびは自転車ラックをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
本製品の機能を十分に発揮させ安全にご使用いただくために、
組立施工及びご使用になる前に必ずこの「組立説明書」をお読み頂き、
よく理解して下さい。

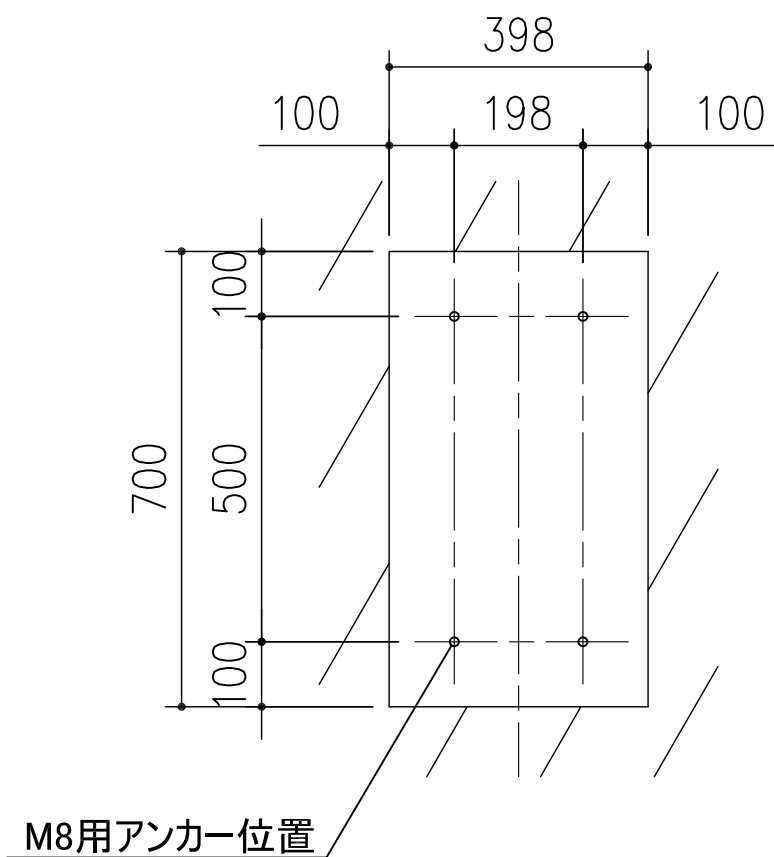
「組立説明書」はいつでも使用できるように大切に保管して下さい。

組立（施工）上の注意

- ① 製品は必ずこの組立説明書に基づき施工組立して下さい。
- ② 製品は必ずコンクリート基礎の上に設置して下さい。
基礎は十分な強度がない場合（アスファルト等）本体の転倒により人身事故が発生する危険性があります。
- ③ 製品は必ず水平状態に設置して下さい。（本体の傾きにより自転車の落下による人身事故の危険性があります。）
- ④ 屋上や崖の上など風当たりの強い場所や基礎の不安定な場所には設置しないで下さい。（強風時自転車の転倒などで人身事故の危険性があります。）
- ⑤ 事故防止のため、みだりに改造しないで下さい。
- ⑥ 組立作業の安全のため、手袋などの保護具を使用して下さい。
- ⑦ 組立が完了した後は、必ず各部分のネジの緩みがないか確認して下さい。又周囲の安全を確かめたいうえ不具合がないか点検確認して下さい。

基礎寸法図

1台収容例



組立順序



組立説明書の中で、このマークがついている箇所はとても重要な部分です。
よく読んで正しく組立て下さい。

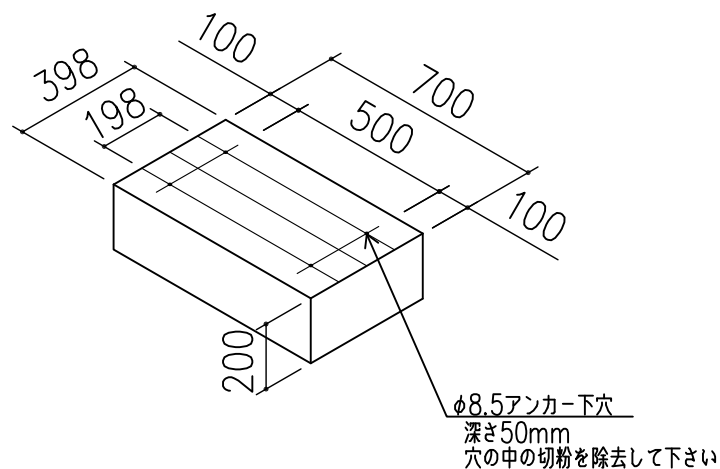
①アンカー用下穴の穴あけ

コンクリート用ドリルを使用してコンクリートの基礎にアンカー用の下穴をあけます。
ドリルの直径は推奨のものを使用して下さい。



コンクリート以外の場所(アスファルト等)へのアンカー打ちは絶対避けて下さい。
コンクリートが生乾きの状態でのアンカー打ちは十分な強度がでないので絶対に避けて下さい。

■基礎基本寸法図



②アンカーの打込み

①であけたアンカー用下穴に合わせてラック本体を置きます。
付属のアンカーにボルトの先が見えるまでナットをねじ込んでラック本体の穴を通してコンクリートの穴に差し込みます。
ハンマーにてアンカーの中心の「ピン」を打込みアンカー用ナットで締付けます。



アンカーのピンは最後まで打込んで下さい。
打込みを途中でやめたり、曲がってしまったりした場合はアンカー所定の強度が出ないため、転倒などの事故につながります。
必ず最後まで打込んで下さい。



アンカーボルトが抜けてきてしまう様な場合(ナットが締まらない)はそのアンカーボルトを引き抜き基礎をやり直るか長めのアンカーを使用する等の方法で基礎にしっかりと固定して下さい。
そのままの状態ですとアンカーが抜け、転倒等の重大な事故につながる危険性があります。

③完成

最後に各部分のナットの緩みがないかどうかを確認して下さい。
又、周囲の安全を確認の上ご使用下さい。